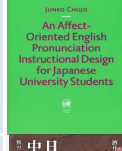


	書影	著者	Product ID	ISBN	出版社	底本刊行 年月	フォーマット	同時 アクセス1 本体価	同時 アクセス2 本体価	同時 アクセス3 本体価
		書名	内容紹介							
1		工藤浩 副詞と文	KP00017970	9784894767881	ひつじ書房	201610	PDF	¥15,840		¥23,760
		《副詞》の機能システムと《文》の叙法形式との相互関係の分析をめざした、論文の集成である。山田文法と時枝文法とに理論的なひずみ(非両立的な類縁関係)があった「副詞」の構文的な諸機能は、「かざし」(富士谷成章)または《小詞(＝制限詞)》の機能的なシステムとみるようにかわり、それが文の叙法階層と、《様相限定・陳述呼応》の二重の構文関係をもつにいたる。「みどり図」を参考に付した。								
2		鈴木愛理 国語教育における文学の居場所 言葉の芸術として文学を捉える教育の可能性	KP00017971	9784894768055	ひつじ書房	201612	PDF	¥25,740		¥38,610
		文学が「教材として」読まれることによって、読み落とされることがあるのではないか――言葉の芸術として文学を捉える教育を探ることは、文学という芸術がひとの生にどのような役割を果たすのかを考えながら文学教育を考えるということである。これまでの文学教育の理論と実践を跡づけながら、言葉の芸術として文学を捉える文学教育の独自性、および現代における文学教育の存在意義を理論的に考察するとともに、国語科教育における文学の居場所を探る一冊。								
3		早津恵美子 現代日本語の使役文	KP00017972	9784894768109	ひつじ書房	201610	PDF	¥23,760		¥35,640
		現代日本語の「使役」という文法現象の性質の解明にあたり、本書では「使役文」の性質と「使役動詞」の性質とを意識的に分けつつ相互の関係を探ることにつとめた。それによって使役文の全体像を捉えることを目指し、使役文の意味・文法構造の種々相、使役文のヴォイス性（原動文・使役文・受身文の関係）、使役動詞の動詞性およびその変容（語彙の意味の単一位性、他動詞化、後置詞化、判断助辞化）等について実証的に論じた。								
4		円山拓子 韓国語citaと北海道方言ラサルと日本語ラレルの研究	KP00017973	9784894768116	ひつじ書房	201608	PDF	¥23,100		¥34,650
		変身・非意図・可能・状態変化等の用法を持つ韓国語の助動詞citaの多義を支えるメカニズムについて考察し、スキーマの意味と文法的特徴の相互作用によって、citaの多義性が成り立っていることを論じる。また、citaと同様に1つの形態でアスベクト・ヴォイス・モダリティにまたがる意味を表す日本語ラレル、北海道方言ラサルとの対照分析をおこない、3つの形式の共通点・相違点を意味地図によって提示する。								
5		須賀あゆみ 相互行為における指示表現	KP00017974	9784894768208	ひつじ書房	201801	PDF	¥21,120		¥31,680
		「ハルケン」「ものすごい嵐」「台風みたいなの」「カトリナ」。同じものを指すときに用いる表現にはいくつかの選択肢があり、性質を説明したり、固有名詞を用いたり、様々な方法がある。本書は会話分析の手法を用いて、日本語の日常生活のなかで、指示表現の選択が、質問・依頼・語りなどの活動を成し遂げるために、その場その場で聞き手の知識を考慮しつつ、指示対象の適切な認識を促すようになされることを明らかにする。								
6		大木一夫 文論序説	KP00017975	9784894768222	ひつじ書房	201705	PDF	¥27,720		¥41,580
		文はいかに成立するかという問題は、文法論の基本的で重要な問題であるが、なかなか解決にいたらない文法論のアポリアである。この問題に対して、行為としての言語という視座から考えることを試みる。文の成立には、文が文として持つ言語行為の意味が関わることを説き、そのような立場の射程を示すために、いくつかの文法概念の再構築について論じ、さらに、この立場にもとづく現代日本語の時間表現の精細な記述におよぶ。								
7		青木博史 日本語歴史統語論序説	KP00017976	9784894768345	ひつじ書房	201611	PDF	¥23,760		¥35,640
		本書は、日本語史上における重要な文法現象について、統語論的観点からのアプローチを意識的に用いて考察を行なったものである。伝統と革新、理論と記述、一般性と個別性、これらのバランスをとりながら、言語の動的な歴史（ストーリー）を描くことを目的としている。どのような説明が、日本語における文法変化を必要十分な形で説明したことになるのか。歴史叙述の窮極の課題の解決を目指した、歴史統語論的研究の序説である。								
8		今村泰也 所有表現と文法化 言語類型論から見たヒンディー語の叙述所有	KP00017977	9784894768383	ひつじ書房	201702	PDF	¥25,740		¥38,610
		所有は抽象的な概念であり、世界の言語の所有表現は具体的な表現から発達している。例えば、ヒンディー語には英語のhaveに相当する動詞がなく、叙述所有(X has Y)は存在文で表される。本書は所有を文法化の流れの中で捉えたHeine (1997) Possessionの理論的枠組みに基づき、ヒンディー語の6つの所有構文を言語類型論の観点から考察した。本書は50を超ええ言語の例と研究の知見を含み、さまざまな言語を研究する際のヒントを提供する。								
9		古賀悠太郎 現代日本語の視点の研究 体系化と精緻化	KP00017978	9784894768611	ひつじ書房	201803	PDF	¥21,120		¥31,680
		話し手の「視点」のあり方は我々の言語に影響を及ぼす重要な要素の一つであり、数多くの議論がなされてきた。しかし、論者によって「視点」の意味は様々であり、そもそも視点を持ち出す意義の問題もある。本書は、授与動詞文、移動動詞文、ヴォイスなどの文法項目に視点がどのように関与するのかを改めて検討した上で、視点の関与の仕方という観点から複数の文法項目の間に認められる体系を構築。言語と視点の関係を明らかにする。								
10		金智賢 現代日本語と韓国語における条件表現の対照研究 語用論的連続性を中心に	KP00017979	9784894768765	ひつじ書房	201803	PDF	¥21,450		¥32,175
		本書は、現代日本語と韓国語の条件表現を対照的かつ統合的に分析することで、それぞれの言語の特徴を明らかにし、通言語的な現象としての条件表現を再考しようとするものである。特に、条件カテゴリ間の語用論的連続性に注目し、条件と起起、理由、主題にわたる現象を有機的な連続体として把握することで、両言語の共通点や相違点を精密に記述するだけでなく、各言語の特徴的な現象を取り上げ、独自の枠組みでの分析を試みた。								
11		Takashi Kobayashi I mean as a Marker of Intersubjective Adjustment A Cognitive Linguistic Approach	KP00017980	9784894769021	ひつじ書房	201802	PDF	¥28,050		¥42,075
		本書は談話標識 I mean の本質と用法の広がり、を、認知言語学における「現行談話スペース（Current Discourse Space）」の概念を用いて明らかにする。先行研究では、用法の羅列と、一つの観点からの窮屈な一般化に終始しているが、本書では、語用論と認知言語学の諸概念に基づき、諸用法を円念に理論的に位置付けることで、その本質が「話し手の本意へ聞き手を導く」間主観的調整にあり、用法間の関係は、認知プロセスの差異として、統一的に示した。								

	書影	著者	Product ID	ISBN	出版社	底本刊行 年月	フォーマット	同時 アクセス1 本体価	同時 アクセス2 本体価	同時 アクセス3 本体価
		書名	内容紹介							
12		城綾実 多人数会話におけるジェスチャーの同期「同じ」を目指すとうとするやりとりの会話分析	KP00017981	9784894769069	ひつじ書房	201802	PDF	¥19,140		¥28,710
13		Goto Risa Rhetorical Questions--A Relevance-Theoretic Approach to	KP00017982	9784894768833	ひつじ書房	201802	PDF	¥22,000		¥33,000
14		鍋島弘治朗 メタファーと身体性	KP00029897	9784894766211	ひつじ書房	201609	PDF	¥19,140		¥28,710
15		松中完二 ソシュール言語学の意味論的再検討	KP00029898	9784894767775	ひつじ書房	201807	PDF	¥29,040		¥43,560
16		斎藤倫明 語構成の文法的側面についての研究	KP00029899	9784894768093	ひつじ書房	201608	PDF	¥20,790		¥31,185
17		服部隆 明治期における日本語文法研究史	KP00029900	9784894768376	ひつじ書房	201702	PDF	¥22,440		¥33,660
18		山梨正明 自然論理と日常言語	KP00029901	9784894768574	ひつじ書房	201612	PDF	¥10,560		¥15,840
19		齊藤良子 初級韓国語学習者の学習態度の変容に関する研究	KP00029902	9784894768796	ひつじ書房	201808	PDF	¥22,440		¥33,660
20		西田谷洋 村上春樹のフィクション	KP00029903	9784894768888	ひつじ書房	201712	PDF	¥17,160		¥25,740
21		五十嵐沙千子 この明るい場所 ポストモダンにおける公共性の問題	KP00029904	9784894768918	ひつじ書房	201807	PDF	¥10,560		¥15,840
22		李英蘭 「主題－解説」構造から見た韓国語 -n kes-ita と日本語ノダ	KP00029905	9784894769106	ひつじ書房	201806	PDF	¥22,440		¥33,660

	書影	著者	Product ID	ISBN	出版社	底本刊行 年月	フォーマット	同時 アクセス1 本体価	同時 アクセス2 本体価	同時 アクセス3 本体価
		書名	内容紹介							
23		江利川春雄 日本の外国語教育政策史	KP00029906	9784894769335	ひつじ書房	201808	PDF	¥27,060		¥40,590
			古代から現在までの日本の外国語教育政策を、実践と関連づけながら通史的に考察し、今日の示唆を抽出した。例えば小学校英語もコミュニケーション重視も、明治期から試行錯誤を重ね、貴重な知見と教訓を残している。歴史から学ぶことで、同じ誤りを繰り返すことなく、よりの確な政策決定と実践を行うことができる。政策の策定過程と結果を検証し、改善すべき問題点を提言する。外国語教育政策史年表、主要な政策文書も収録。							
24		池攻京 接続表現の多義性に関する日韓対照研究	KP00029907	9784894769342	ひつじ書房	201807	PDF	¥17,160		¥25,740
			本書は現代韓国語の接続表現「neunde」と日本語「kedo」の多義性に注目し、それぞれの使い分けと両形式の対応関係を対照的に分析したものである。本研究によって導き出した分類基準は、関連する類似表現を統一的に記述することが可能で、一般性のある複文分析の枠組みとして活用を提案した。解釈の多義性と機能の抽象性を段階的に捉えることによって、接続表現全体における多義的接続表現の位置づけを目指したものである。							
25		海老原志穂 アムド・チベット語文法	KP00029908	9784894769519	ひつじ書房	201902	PDF	¥29,040		¥43,560
			東北チベット（中国青海省など）で話されるアムド・チベット語についての本邦初の文法書。同言語が話されている地域や話者、類型的特徴、周辺諸言語との言語接触に関する概況をはじめ、音韻・音声、形態的・統語的・文法範疇、敬語や民俗語彙などの語彙的な豊富な例文とともに網羅的にまとめ、チベット語に特徴的な文法現象である、証拠性（エビデンシャルティ）とウチ・ソトについても詳細に記述された言語学的研究。							
26		吉岡佳子 ろう理容師たちのライフストーリー	KP00029909	9784894769557	ひつじ書房	201902	PDF	¥14,520		¥21,780
			「耳が聞こえないこと」と「接客を伴う理容業」とは、一見ミスマッチとも捉えられる。本書では、ろう教育界の先人による理容業への優れた着眼を紹介し、高度な技術と強固な結束をもって関連に生きてきたろう理容師たちの足跡を、当事者による語りを基軸に活写する。また、聴者の客たちとの間で展開される多様な工夫や自然な歩み寄りによるコミュニケーション実践を、日常的な「多言語・多文化共生」の一例として提示する。							
27		庵功雄 日本語指示表現の文脈指示用法の研究	KP00029910	9784894769571	ひつじ書房	201902	PDF	¥17,160		¥25,740
			日本語の指示表現の文脈指示用法で最も多く使われるのは「この」と「その」である。本書では、両者の機能上の異なりをコーパスでの分布を含め多面的に検討する。限定詞という観点からは、「この」「その」は英語やフランス語などの「定冠詞」に対応すると考えられるが、その関係はどのようになっているのか。本書では、名詞句の指示、照応に関する諸概念を一般言語学的比較に耐える形で規定した上で、この課題の解決を試みる。							
28		澤邊裕子 隣国の言語を学び、教えるということ 日韓の高校で教える言語教師のライフストーリー	KP00029911	9784894769670	ひつじ書房	201903	PDF	¥19,800		¥29,700
			英語教育が最も重視される日本と韓国の学校教育において、韓国語や日本語を学び、教えることにはどのような意味や価値があるのだろうか。本書は隣国の言語の教育に携わってきた在日コリアン、韓国人、日本人高校教師たちの語りと授業事例の分析から、日韓の社会的文脈の中で教師たちが形成していった教育観、その表出としての教育実践、複言語・複文化の素養を生かすロールモデルとしての教師の存在意義と可能性を論じている。							
29		陳奕廷 松本曜 日本語語彙的複合動詞の意味と体系 コンストラクション形態論とフレーム意味論	KP00030762	9784894769076	ひつじ書房	201802	PDF	¥28,050		¥42,075
			認知言語学の立場から日本語の語彙的複合動詞に光を当てるものである。複合動詞を「コンストラクション」として捉え、その体系を階層的なスキーマネットワークで示すとともに、その意味の非合成的側面を説明する。また、動詞の意味構造として、背景知識や関連事象の情報を含む「意味フレーム」を用いることで、複合動詞の結合制約や意味形成における問題を解決する。付録として、様々な情報を付与した包括的な複合動詞リストを収録。							
30		戴宝玉 日本語教育における「のだ」の研究	KP00035613	9784894768642	ひつじ書房	202004	PDF	¥13,860		¥20,790
			本書は、日本語学習者にとって最も習得困難な表現の一つであるノダを包括的に扱い、ノダの全体像を掴むことを試みる。ノダを先行事態を必要とするものと必要としないものの二つにわけ、後者を前者の拡張したものと捉えることによって、一見無秩序に見えるノダの多様な意味を統一的に解釈することが可能になった。外国人日本語教師という筆者の立場から、本書における研究が教育現場でも役立つよう配慮した。							
31		中條純子 An Affect-Oriented English Pronunciation Instructional Design for Japanese University Students	KP00035614	9784894769229	ひつじ書房	202003	PDF	¥24,200		¥36,300
			日本人大学生の英語音声の向上を目的としたインストラクショナルデザイン（教育設計）を提起し、教材の開発過程を通して得た知見を授業改善に応用することで、口頭コミュニケーション能力の向上を目指す。特に学習者の情意領域（学習者の教育内容に対する態度、価値観の形成を行い、外国語学習を促進または妨げる要因を持つ領域）に注目し、英語音声面に対する心理的障壁を取り除くことを重視した教材の開発の戦略と方法を論じる。							
32		酒井順一郎 日本語を学ぶ中国八路軍 我が軍八日本下士兵ヲ殺害セズ	KP00035615	9784894769397	ひつじ書房	202003	PDF	¥8,580		¥12,870
			戦争は兵士による武器の戦いだけではない。言語の戦いもある。日中戦争の際、中国八路軍は、日本語を武器として扱った。日本人将兵に対して、投降や降伏さらには協力者を作るために日本語で工作をするためであった。そのために八路軍は将兵に日本語教育を行い、これを駆使し日本人将兵の心に響く説得工作を行った。本書ではこれまで、ほとんど知られていなかった戦場における八路軍敵軍工作の日本語教育について明らかにする。							
33		久世恭子 文学教材を用いた英語授業の事例研究	KP00035616	9784894769878	ひつじ書房	201910	PDF	¥26,400		¥39,600
			実際の大学授業事例から英語教育における文学教材の意義を再検討した研究書。本書では、日本の英語教育における文学教材の立ち位置を歴史的に確認し、英文学での歴史や理論を踏まえた上で、これまで余り明らかにされてこなかった授業展開や学習者の反応を分析データとして示している。コミュニケーション能力育成やESP（English for specific purposes）を重視した授業での文学教材利用の可能性も追究する。							

	書影	著者	Product ID	ISBN	出版社	底本刊行 年月	フォーマット	同時 アクセス1 本体価	同時 アクセス2 本体価	同時 アクセス3 本体価
		書名	内容紹介							
34		竹田晃子	KP00035617	9784823410123	ひつじ書房	202002	PDF	¥26,400		¥39,600
		東北方言における述部文 法形式	本書は、東北方言における述部文法形式のうち、特徴的な形式が用いられる自発表現・可能表現およびテンス・アスペクト・ムードを取り上げ、共時的・記述的な観点による臨地面接資料、話者の属性差に注目した社会言語学的調査、明治から平成まで約百年間の方言分布調査を分析し、個々の現象・形式や各方言の体系のあり方および地理的分布が形成される過程の解明をめざしたものである。							
35		平田末季	KP00035618	9784823410147	ひつじ書房	202002	PDF	¥21,120		¥31,680
		共同注意場面による日本 語指示詞の研究	日本語母語話者が目の前の対象へ共同注意を確立するために行うやりとりを観察し、それに基づいたコ系・ソ系・ア系の新たな意味論および語用論的分析を提示する。近年の海外の指示詞研究で注目されている「聞き手の注意の状態」などより相互行為的な要因を分析に導入し、直指示用法、テキスト内用法、またコ系・ソ系・ア系に後接する「-レ」、「-コ」などの接尾辞も含め、相互行為場面に根差した統合的な日本語指示詞研究を行う。							
36		李テイ	KP00035619	9784823410215	ひつじ書房	202001	PDF	¥23,760		¥35,640
		日本語教育におけるメタ言 語表現の研究	メタ言語表現の学習とコミュニケーションのメタ認知の向上を結びつける日本語教育を提案。日本語学習者の視点を基に、メタ言語表現の学習の意義を捉え直した上で、豊富な談話資料より収集したメタ言語表現を分析する。初級日本語クラスでの学び、インタビューで得られた学習者の語り、待遇コミュニケーション論と文章・談話論に基づいた分析、いずれも日本語教師や日本語教育研究者に有益である。							
37		中谷博美	KP00035620	9784823410239	ひつじ書房	202002	PDF	¥29,040		¥43,560
		Tag Questions and Their Intersubjectivity A Coanitive Linaustic	認知言語学的アプローチにより、付加疑問文の本質に迫る。先行研究では、用法の列挙と規則の提示に留まっており、用法間の関係や構造の変化を伴う事例に説明を与えていない。実際の使用例を認知文法の「現行談話スペース(Current Discourse Space)」と「Anchoring Structure」の概念に基づいて分析し、なぜ多様な意味機能と形式を持つのか、何が構造に変化を生じさせるのかを付加疑問文の持つ間主観性から明らかにする。							
38		若狭基道	KP00035621	9784823410246	ひつじ書房	202002	PDF	¥49,500		¥74,250
		A Descriptive Study of the Modern Wolaytta Language	エチオピアの南西部で話されているウライタ語（アフロアジア大語族、オモ系）の総合的で詳細な記述的研究。有声喉頭化音の存在の指摘、表記の実態の分析、「具体性」という概念を用いた普通名詞の形の使い分けの解明、固有名詞の多面的な記述、ヴォイスの複合現象の検討等、オリジナルな視点を含みつつもレファランスマスターとして望ましい姿を模索。世界的に密かな注目を集めていた博士論文、待望の出版。							
39		細田明宏	KP00035622	9784823410260	ひつじ書房	202002	PDF	¥25,740		¥38,610
		近代芸能文化史における 『壺坂靈験記』生人形から 浄瑠璃、そして歌舞伎・講 談・浪花節へ	『壺坂靈験記』は、明治20年（1887）に浄瑠璃として初演されたのに歌舞伎や講談、浪花節でも上演されて人気を博した。妻の献身と観音の靈験により盲目の男が開眼するというストーリーや、お里・沢市という登場人物は広く人々に親しまれている。本書は、近代芸能史上にユニークな位置を占めるこの作品について、宗教的物語が芸能化してさまざまなジャンルに展開する過程をとり、時代背景からその特質を明らかにする。							
40		小川誉子美	KP00035623	9784823410314	ひつじ書房	202002	PDF	¥11,220		¥16,830
		蚕と戦争と日本語 欧米の 日本理解はこうして始まっ た	欧米の日本語学習は対日戦略とともに展開した。そのうち、国防、外交、交易など各国の利益と結びついた8つのトピックを紹介する。幕末の日本産「蚕」や日露戦争後の日本に注がれた関心が日本語の研究を促すなど、動機は意外なところにあった。16世紀から20世紀の西洋人の日本語学習は、綿密な計画とためめ努力、日本語教師たちの真摯な協力によって成果を生んだ。エピソードを交えながら当時の息吹を紹介する。							
41		今西祐介	KP00035624	9784823410338	ひつじ書房	202003	PDF	¥12,540		¥18,810
		言語の能格性	能格性に関する日本語での初の概説書。能格言語の特性を示すと同時に、英語や日本語と能格言語の類似性にも注目することで、言語の普遍性研究の重要性を説く。頻繁に議論される能格言語（バスク語やヒンディー語等）と筆者の専門であるマヤ諸語に焦点を当てながら能格性とそれに関連する言語現象を網羅的に紹介。さらに、生成文法理論における能格性研究を概説しながら、当該理論の成果・問題点・今後の展望を明らかにする。							
42		三上直之 立川雅司	KP00035625	9784894769816	ひつじ書房	201903	PDF	¥4,620		¥6,930
		「ゲノム編集作物」を話し合 う	生物の遺伝子を自在に改変できるゲノム編集技術が農作物の品種改良にも導入されつつある。ゲノム編集作物は農業や自然環境、人の健康への光明か、脅威か。遺伝子組換え作物との違いは何か。栽培や流通にルールを設けるべきか。先端科学技術と生活との接点で生じるこうした疑問や論点について、専門家に任せせず市民が話し合い、考えていく可能性を探る。							
43		平田秀	KP00035626	9784823410093	ひつじ書房	202001	PDF	¥24,090		¥36,135
		三重県尾鷲方言のアクセント研究	三重県尾鷲市尾鷲方言のアクセント体系について、フィールドワークにもとづいて詳細に記述する。尾鷲方言のアクセント体系は、3つの「式」の対立をもつ点、単独形では高い音調をもつ語が音環境によって低く発音される「連続変調」がみられる点が、通方言的にみて特質である。尾鷲方言は、2つの式の対立をもつ京阪方言とかつては同系統であったとらえられ、尾鷲方言が3つの式をもつに至った経緯について、考察を行う。							
44		三原裕子	KP00054703	9784894769595	ひつじ書房	201912	PDF	¥29,040		¥43,560
		江戸語資料としての後期 咄本の研究	従来、後期咄本は江戸語資料としての価値を認められることが少なかった。しかし一方で、当時既に古臭さ・尊大さを想起させる「ござる」、婉曲な拒絶を表す「一昨日来い」等の様々な実例が見られ、市井の会話が得られる資料と言える。本書はこれらの実例から(表記変化を促すもの)・(類型化と使用層の変化)等、表記・語彙・語法他の視点から、江戸語が上方語的要素を脱し、独自の発展を遂げた変化の要因を論じるものである。							

	書影	著者	Product ID	ISBN	出版社	底本刊行 年月	フォーマット	同時 アクセス1 本体価	同時 アクセス2 本体価	同時 アクセス3 本体価
		書名	内容紹介							
45		中山俊秀 大谷直輝【編】	KP00054704	9784894769953	ひつじ書房	202012	PDF	¥14,850		¥22,275
		認知言語学と談話機能言語学の有機的接点 用法基盤モデルに基づく新展開	本書は、言語学実際の言語経験に基づいて形成される動的な知識体系として捉える用法基盤モデルを接点として認知言語学と談話機能言語学の有機的融合を図り、言語知識、言語獲得、言語運用に関する研究の新展開の可能性を示す。第1部と第2部で用法基盤モデルで想定される言語観を概観し、第3部では学際的な視点から行われた9つの研究を事例としてあげる。執筆者：岩崎勝一、大谷直輝、大野剛、木本幸恵、佐治伸郎、サドー美澄、柴崎礼士郎、鈴木亮子、第十早織、賀智子、田村敏広、長屋尚典、中山俊秀、堀内ふみ野、松本善子、吉川正人							
46		内田諭 大賀哲 中藤哲也【編】	KP00054705	9784823410000	ひつじ書房	202107	PDF	¥11,880		¥17,820
		知を再構築する 異分野融合研究のためのテキストマインニング	本書は異分野融合研究を実践するための方法論としてテキストマインニング（TM）に着目し、その基本的な仕組みや実際の研究事例を示したものである。基礎編ではTMの理論や手法等を紹介し、実践編では言語学、情報学、政治学、社会学、看護学、環境学など多様な分野の新進気鋭の研究者が、それぞれの分野におけるTMの実践的な研究例を提示する。執筆者：石田栄美、伊豆倉理江子、内田諭、大賀哲、加藤朋江、金岡麻希、川端亮、木下由美子、清野聡子、田中省作、土屋智行、中藤哲也、永崎研宣、畑島英史、秦正樹							
47		秦かおり 村田和代【編】	KP00054706	9784823410062	ひつじ書房	202012	PDF	¥11,880		¥17,820
		ナラティブ研究の可能性 語りが写し出す社会	本書は、多様なアプローチからの研究方法を用いてナラティブ（語り）を考察する実証研究論文9本とイントロダクションから構成される。様々な場所で、様々な人を相手に語られたナラティブを紐解くことで、そこに反映されている現代の価値観や社会規範を批判的に読み解き、それに基づく問題の所在とその解決を導くことをめざしている。執筆者：相田慎、石原凌河、植田栄子、大場美和子、佐藤梨、秦かおり、村田和代、山口征孝、吉田悦子、陵平名尚子							
48		土屋智行	KP00054707	9784823410109	ひつじ書房	202002	PDF	¥13,860		¥20,790
		言語と慣習性 ことわざ・慣用表現とその拡張用法の実態	本書は定型表現とその拡張用法の網羅的な記述・分析を通して、言語と慣習の関係を認知・社会的な側面から考察したものである。日本語慣用表現や諺をはじめとした定型性の高い表現を多く収集し、コーパス言語学の手法を用いて分析している。また「形式的変化を容認しにくい」と言われていた定型表現が様々な形式的変化を伴って使用されている事例を示し、定型的言語から創造性が発揮されるダイナミズムを理論的にまも上げている。							
49		新野直哉	KP00054708	9784823410116	ひつじ書房	202002	PDF	¥21,450		¥32,175
		近現代日本語の「誤用」と言語規範意識の研究	本書は、副詞“全然”に関する昭和10～20年代を中心とした学界・一般社会双方における規範意識の考察や、現代日本語における「誤用」の定番例として知られている“気がおけない”、“世間ずれ”、“名前負け”等の使用実態と言語規範意識についての考察を行い、さらに昭和戦前～20年代の日本語の実態とそれに関する言語規範意識の研究に役立つ新資料の紹介およびそれを用いた研究の実例をも示したものである。							
50		吉村公宏	KP00054709	9784823410130	ひつじ書房	202002	PDF	¥23,760		¥35,640
		英語中間構文の研究	理論を問わず、英語中間構文は人気のあるテーマである。しかしながら、看過されてきた問いは、能動と受動の中間がなぜ「属性」を表現するのか、そのときの属性とはそもそも何か、という根源的な問いである。本書は伝統文法、生成文法、認知文法の研究成果を総括し、上記の問いに認知意味論的視点から切り込む。多数の実例データを駆使しつつ、新しい説明原理によってその本質に迫る。認知意味論・語彙・構文・語法の研究者には必見の一冊である。							
51		福池秋水	KP00054710	9784823410154	ひつじ書房	202002	PDF	¥16,500		¥24,750
		漫画に見られる話しことばの研究 日本語教育への可能性	東京を中心とした首都圏の話しことばは、首都圏方言と呼ばれ、多くのドラマ、漫画などの作品で用いられるほか、日本語の会話教育でも取り入れられることがある。本書では、主に漫画作品を対象として、う行音の撥音化（わからない→わかんない）等、首都圏方言の表現のゆれがどのように使いつけられているかに関する観察を行った。日本語学習者の表現の幅を広げる支援を行うための基礎研究となることを目指す。							
52		西田谷洋	KP00054711	9784823410475	ひつじ書房	202009	PDF	¥11,880		¥17,820
		女性作家は捉え返す 女性たちの物語	児童文学の女性作家たちはどのような物語を紡ぎ出したのだろうか。児童文学は一見子供向けとされるが、実際には別世界への飛翔だけでなく、時にメランコリックで無気力な人物を描き、死や記憶にまつわる物語が編まっていた。本書は、教科書教材に採用されることも多い安房直子・あまきみこ・小川洋子の作品と共に、吉本ばなな・山内マリコの小説、岡田厚里脚本のアニメ、香魚子の少女漫画を取り上げ、女性児童文学の様相を探る。							
53		椎名美智	KP00054712	9784823410567	ひつじ書房	202101	PDF	¥11,880		¥17,820
		「させていただく」の語用論 人はなぜ使いたくなるのか	「させていただく現象」の謎を解く。「させていただく」を言われて怒れる人がいる一方で、「させていただく」の氾濫はとどまるところを知らない。なぜ人は使いたくなり、何が違和感を生むのか？ この問いに答えるべく、意識調査で許容と違和の境界を探り、コーパス調査で発話行為の観点から他の授受表現との勢力関係変化を探究した。それらをコフマンの枠組みから再解釈することで、授受表現に生じているシフトに対する洞察を得た。							
54		文昶允	KP00054713	9784823410611	ひつじ書房	202102	PDF	¥16,500		¥24,750
		日本語における短縮外来語の形成とその仕組み	本書は、複合外来語を元にする短縮語形成（例えば「デジタル・カメラ」が「デジカメ」となる現象）の仕組みについて扱うものである。先行研究では、専ら理論的な分析がなされている一方で、その説明に実証的な裏付けは与えられていない。本書では、データベースの分析及び実験により、短縮語形成を制御する要因を明らかにする。具体的には、音韻的要因（音節構造や同音連続）（加え、言語使用者の嗜好傾向が影響していることを主張する。							
55		三好伸芳	KP00054714	9784823410642	ひつじ書房	202103	PDF	¥23,100		¥34,650
		述語と名詞句の相互関係から見た日本語連体修飾構造	従来、連体修飾要素の機能は被修飾名詞句の指示性によって決定されるとされ、「定／不定」といった区別が素材に連体修飾構造の分析に適用されることが多かった。しかし、実際には、そのような一般化に当てはまらない例が体系的に存在する。本書では、日本語の連体修飾構造に見られるさまざまな文法的振る舞いの包括的分析を通じ、連体修飾要素の機能、述語の内包性、名詞句の指示性といった意味論的な概念について、新たな理論的枠組みの提示を試みる。							

	書影	著者	Product ID	ISBN	出版社	底本刊行 年月	フォーマット	同時 アクセス1 本体価	同時 アクセス2 本体価	同時 アクセス3 本体価
		書名	内容紹介							
56		大神智春 日本語学習者による多義語コロケーションの習得	KP00054715	9784823410673	ひつじ書房	202102	PDF	¥22,440		¥33,660
		本書は、学習者が多義動詞「とる」を中心語とするコロケーションの習得過程において、どのような中間言語を形成しているか解明することを目的とした。研究に当たっては、学習者の中間言語を典型化、一般化、差異化の観点から複合的に捉えることを試みた。また、研究結果を日本語教育のコロケーション教材開発に活かすことを目指し、教材作成過程における留意点や練習問題の在り方等を提言した。								
57		山本原治 明治・大正期国語科の成立と修身科との関わり 文学教材は何を伝えたのか	KP00054716	9784823410758	ひつじ書房	202102	PDF	¥20,460		¥30,690
		明治・大正の教育は、忠君愛国とそれに基づく家族国家観の形成に向けて、修身科を頂点とした教育体系により展開していた。その中で文学教材は、修身科にあつては、「教訓・訓戒」のための題材として、国語教育実践の場においては、それらに抗う、児童主体の「想像」を重視した題材として扱われていった。本書では、当時の国語教育の実相を捉えるとともに、脱文学の方向性を示している現在の国語教育のあり方についても考察する。								
58		吹原豊 移住労働者の日本語習得は進むのか 茨城県大洗町のインドネシア人コミュニティにおける調査から	KP00054717	9784823410963	ひつじ書房	202106	PDF	¥15,840		¥23,760
		日本語学習リソースへのアクセスが制限されている移住労働者の日本語習得過程はどのようなものか。本書は10年余におよぶフィールドワークと100名を超えるOPIによるデータをもとに、第二言語環境における移住労働者の日本語習得過程を、日本の地域社会に存在する複数のコミュニティへ参加していく中での状況的学習としてとらえ、分析を行った研究の成果である。第二言語習得研究者はもとより広く在日外国人問題に関心のある読者には是非ご一読いただきたい。								
59		定延利之【編】 発話の権利	KP00055200	9784894769830	ひつじ書房	202012	PDF	¥9,570		¥14,355
		車が動かないのは、運転手がペダルを踏み間違えているからである。それを見つければ車内の誰でも「あ、ブレーキ踏んで！」と言える。だが、「あ、ブレーキ踏んでた！」は基本的に運転手しか言えない。この運転手の「特権性」はどこから、どのように生じるのか？ 語用論、会話分析、人類学、動物行動学の第一線の研究者たちの「答」がここにある。執筆者：木村大治、串田秀也、定延利之、園田浩司、高梨克也、中村美知夫、細馬宏通、村田和代								
60		加藤夢三 合理的なものの詩学 近現代日本文学と理論物理学の邂逅	KP00055201	9784823410253	ひつじ書房	201911	PDF	¥18,480		¥27,720
		近現代日本文学の書き手たちは、同時代の理論物理学やその周辺領域の学知に、どのような思考の可能性を見いだしていたのか。「合理」的なものの見方を突き詰めていたはずの作家たちの方法意識が、時として「非合理」的な情念へと転化するのはどうしてなのか。本書は、その総合的な表現営為のありようを検討することを通じて、モダニズムの文芸思潮から今日のサイエンス・フィクションにいたるまでの芸術様式の系譜を再考することを試みたものである。								
61		出原健一 マンガ学からの言語研究「視点」をめぐるって	KP00055202	9784823410482	ひつじ書房	202103	PDF	¥11,550		¥17,325
		認知言語学とマンガ学。一見、関連性がないように見えるが、実はどちらも「視点」がキーワードとなっている。認知言語学では主観的な視点と客観的な視点为主に議論されるが、マンガにはさらに多様な「視点」が存在する。本書ではマンガ学の視点概念を用いて、日本語のルビと英語の自由間接法法を中心に分析し、言語研究全般に援用できるような新たな視点理論の提案を試みる。								
62		田中寛 日本語複文構文の機能論的研究	KP00055203	9784823410574	ひつじ書房	202102	PDF	¥29,040		¥43,560
		日本語の複文を構文の複合体としてとらえ、その談話環境及び展開の諸相を機能論的角度から論じた。ナラを始めとする条件構文の体系的見直し、動詞の接続辞表現、トアッテとアッテ、タケニとタケアッテの意義づけを行うほか、ナカ時間節の事態誘導的機能に深く関与する点、形態的機能的に多岐にわたる比較・並列・対比表現の考察などを加える。『日本語複文表現の研究』、『複合辞からみた日本語文法の研究』に続く複文研究の集大成。								
63		川野靖子 壁塗り代換をはじめとする格体制の交替現象の研究 位置変化と状態変化の類型交替	KP00055204	9784823410628	ひつじ書房	202102	PDF	¥19,140		¥28,710
		「壁にペンキを塗る／壁をペンキで塗る」のような格体制の交替現象は、壁塗り代換と呼ばれ広く知られているが、この現象はどのような仕組みで起こるのか。本書では、壁塗り代換とその関連現象を体系的に記述し、「意味類型の階層モデル」を用いて成立原理の統一的な説明を試みる。英語のlocative alternation研究との比較、ヴォイスや多義語との原理的な相違にも議論が及ぶ。一冊まるごと現代日本語の壁塗り代換を論じた、初の研究書。								
64		山岡華菜子 環大阪湾地域におけるアクセント変化の研究	KP00055205	9784823410635	ひつじ書房	202102	PDF	¥22,440		¥33,660
		京阪式アクセントはアクセント研究の中心をなしてきた分野であるが、その中心の京都から諸地域に範囲を広げると、あまり注目されてこなかった地域や興味深いアクセント変化が観察される。本書では、淡路、明石、鳴門、岸和田、和歌山県橋本、高知などの環大阪湾地域のアクセントやアクセント変化の傾向を、筆者の調査の結果を基に、アクセント史もふまえ明らかにする。また、その特徴を京阪式アクセントの史的変遷の上に位置づける。								
65		谷口ジョイ Biliteracy in Young Japanese Siblings	KP00055206	9784823410680	ひつじ書房	202102	PDF	¥32,340		¥48,510
		本書は、海外生活により複言語環境にあった日本語を母語とする子どもの第二言語能力が、帰国後どのように変化するかを、長期にわたり質的に記述したものである。帰国児童が海外で身につけた英語の能力を、リテラシーという観点から捉え、兄弟姉妹とその家族を継続的に調査、観察することで、保護者の意識、子どもたちの日常的なリテラシー活動、人的ネットワークなど子どもたちを取り巻く社会的要因について明らかにする。								
66		長辻幸 The Pragmatics of Clausal Conjunction	KP00055207	9784823410697	ひつじ書房	202102	PDF	¥32,340		¥48,510
		本書では、日英対照の視点から、節連言構造の解釈メカニズムの解明とそのモデル化により、当該現象の全体像における核心部を明らかにする。節レベルの要素を等位的な接続表現でつなぐ節連言構造として、英語のand連言文とそれに対応する日本語の複数の構造を認知語用論の枠組みに基づいて分析する。そのうえで、節連言構造の解釈に貢献する根本的な特性を抽出し、当該現象を統一的かつ包括的に説明できる新たなアプローチを示す。								

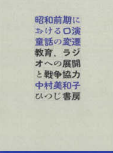
	書影	著者	Product ID	ISBN	出版社	底本刊行 年月	フォーマット	同時 アクセス1 本体価	同時 アクセス2 本体価	同時 アクセス3 本体価
		書名	内容紹介							
67		井原浩子 A Cognitive Linguistic Approach to Japanese Agrammatism	KP00055208	9784823410703	ひつじ書房	202103	PDF	¥30,360		¥45,540
			本書は日本語の失文法に見られる助詞「が」、「を」、「に」、「から」の誤用について、主に授受動詞や受動文を用いた産出実験結果に基づき、認知言語学の視点から説明を試みる。また、それらと類似した幾つかの現象（子供の言語獲得過程で見られる助詞の誤用、口語体における助詞の省略、健常者の言い誤りに見られる助詞の誤用）を取り上げ、失文法の場合と比較することから見いだせる共通性と相違が何に起因するのかを考察する。							
68		朴天弘 現代日本語の「ハズダ」の研究	KP00055209	9784823410833	ひつじ書房	202103	PDF	¥22,110		¥33,165
			現代日本語の「ハズダ」について、様々な用法を細く分類するだけでは、「ハズダ」の本質が見えにくくなる恐れがある。本書では、「話し手が持っているある情報（知識）」に対して、それに反する、またはギャップが感じられる状況が起きる場合」という「ハズダ」の使用条件を提示し、「知識確認」という機能が「ハズダ」の意味機能であることを新たに導入することで「ハズダ」の解釈に統一的な答えを見出した。							
69		北川公美子 明治期の幼稚園教育と童話 小学校教育・児童文学との関わりから	KP00055210	9784823410840	ひつじ書房	202102	PDF	¥23,760		¥35,640
			日本の幼稚園教育の歴史の中で、童話との関係は深く、その初期から「談話・説話」の保育項目の中で取り上げられ、現在でも教材として重要な役割を担っている。本書では、そのような童話が、幼稚園教育の黎明期である明治期において、どのように保育の中へ導入され、受容されてきたかを、小学校教育や児童文学、及び社会状況との関わりを踏まえ、実証的に検証することにより、保育内容としての童話の成立過程の一端を明らかにした。							
70		ダニエル・ロング 小笠原諸島の混合言語の歴史と構造 日本由来の多文化共生社会で起きた言語接触	KP00077274	9784894769045	ひつじ書房	201802	PDF	¥26,400		¥39,600
			東京都の小笠原諸島がユネスコの世界自然遺産となつてからよく話題になるが、実は180年以上前からそこには多数の言語を話す人々が暮らしており、2世紀近くにわたつてさまざまな言語接触が積み重なつた結果、現代使われる「小笠原混合言語」が形成されたのである。本書は、その構造をビジョンやクレオールとの違いから分析しつつ、21世紀の日本が直面している「多文化共生」や「複言語」の状況を小笠原の欧米系島民がどのようにして乗り越えてきたかを解説する社会言語学の歴史的研究である。							
71		金澤裕之 川端元子 森篤嗣【編】 日本語の乱れか変化か これまでの日本語、これからの日本語	KP00077275	9784823410376	ひつじ書房	202102	PDF	¥12,540		¥18,810
			ルールからの逸脱という一般にはネガティブに捉えられることが多い。しかし歴史や文化の実際の流れから見ると、それこそが新しい時代やトレンドを生み出す原動力となっていることも多い。日本語における過去や現在進行中の変化を多様な面から取り上げ、ことばの「乱れ」「正しさ」「変化」といったものを、動的な視点から見つめ直す試みの1冊。執筆者：岡田祥平、尾崎喜光、金澤裕之、川端元子、金愛蘭、野田春美、橋本行洋、松田謙次郎、袁川恵理子、森篤嗣、山田敏弘、横山詔一							
72		大学英語教育学会（JACET） 浅川和也 田地野彰 小田真幸【編】 英語授業学の最前線	KP00077276	9784823410406	ひつじ書房	202011	PDF	¥6,600		¥9,900
			JACETが、1962年の創立以来行ってきた応用言語学研究の理論と実践を形として残すためにスタートしたのが本JACET応用言語学研究シリーズである。創刊号の本書は、授業学をテーマに開催された「英語教育セミナー」（2016～2018年度）を総括した内容（基礎編、理論編、応用編、資料編）の4部で構成され、授業学の第一線で活躍する研究者達による珠玉の1冊である。執筆者：ジュディス・ハンクス（訳：加藤由崇）、柳瀬陽介、吉田達弘、竹内理、浅川和也、岡田伸夫、村上裕美、佐藤雄大、馬場千秋							
73		金智賢 コピュラとコピュラ文の日韓対照研究	KP00077277	9784823410666	ひつじ書房	202107	PDF	¥24,090		¥36,135
			本書は、現代日本語と韓国語の多様なコピュラ文の対照分析を通じ、両言語のコピュラ構造並びにコピュラ形式「だ」「ita」の特徴を明らかにしようとするものである。基本型コピュラ文の意味論的分析をはじめ、一項名詞文、ウナギ文、動作性名詞述語文、拡張型コピュラ文、分裂文、さらに、コピュラ及び属格助詞に関わる名詞修飾構造等を対照的に取り上げること、日韓のコピュラやコピュラ文の根本的かつ総体的な理解に迫る。							
74		山中桂一 ソシュールのアナグラム予想 その「正しさ」が立証されるまで	KP00077278	9784823410925	ひつじ書房	202204	PDF	¥8,580		¥12,870
			古典語の詩には、表現に並行して神格や作者名、テーマなどの音像を形成するような未知の詩法が存在したのではないかと――この直感はソシュールを夢中にさせたが、結局その確証を得るに至らず、また後世の研究者たちも目ぼしい成果を挙げられないでいた。しかし最近ようやくアナグラムの存在とその仕組みに関する有望な学説が登場した。本書ではそこに至る紆余曲折を略述し、最終解とでもいいこの新説を紹介する。							
75		松本和也 文学と戦争 言説分析から考える昭和10年代の文学場	KP00077279	9784823411038	ひつじ書房	202111	PDF	¥23,100		¥34,650
			本書は、アジア・太平洋戦争期と重なる昭和10年代文学（史）に関する研究プロジェクトとして、多彩な文学活動を歴史的なアプローチによって多角的に検証した成果の集大成である。昭和10年代を通して多くの文学者が関わった論争的なテーマの数々、話題となった文学作品の特徴や同時代受容、戦時下における文学者の生き方などをとりあげ、問題構成に応じてアレンジしたメディア調査、言説分析、テキスト読解をクロスさせた考察を集積した。							
76		平田文子 デュルケーム世俗道徳論の中のユダヤ教 ユダヤの伝統とライシテの狭間で	KP00077280	9784823411014	ひつじ書房	202202	PDF	¥23,100		¥34,650
			デュルケームは、ラビの継承者でありながらユダヤ教信仰を棄ててフランスの世俗道徳論者になった。この通説に対して、ユダヤ教に根拠を置いて彼の道徳的連帯論を検討することが本書の目的である。近代以降キリスト教に対抗して進展してきた民主主義は、その基盤に世俗主義を掲げてきた。彼の世俗道徳論をユダヤ教の法概念に照らして解釈することは、「キリスト教から世俗主義へ」という近代西洋思想の展開に新たな視点を与える。							
77		渡辺良彦 英語の補部の関係節の統語論・意味論と先行詞の問題	KP00077281	9784823411021	ひつじ書房	202202	PDF	¥22,000		¥33,000
			述詞関係節や副詞句を空所とするある種の関係節が、関係節の形をしていますが修飾節とは異なる「補部」という意味機能を果たすのはなぜだろうか？ 本書は、可能な補部の関係節を限定するため関係節化を個体対象のものに述語対象のそれとの2つに分け、後者が補部の関係節を特徴づけるという考えを生成文法の枠組みで論じた最初の試みである。本書では、命題関数でなく「命題」として解釈される関係節の存在が新たに提案される。							

	書影	著者	Product ID	ISBN	出版社	底本刊行 年月	フォーマット	同時 アクセス1 本体価	同時 アクセス2 本体価	同時 アクセス3 本体価
		書名	内容紹介							
78		謝恵貞	KP00077282	9784823411090	ひつじ書房	202112	PDF	¥20,460		¥30,690
		横光利一と台湾 東アジアにおける新感覚派（モダニズム）の誕生	日本統治期台湾の文学において、横光利一の「純粋小説論」や作品が与えた影響は大きく、また、その影響は中国や韓国など東アジアに広がる。本書は、日本統治期において台湾人作家がいかに横光を受容したかを解明し、台湾文学史の中にこれまで看過されてきた「台湾新感覚派」の誕生を文学史上に正しく位置づける。更に、韓国の李箱や中国に渡った劉呐鷗の横光受容や、新発見された横光の随筆「台湾の記憶」を通して台湾の表象を論じる。							
79		堀内ふみ野	KP00077283	9784823411106	ひつじ書房	202202	PDF	¥31,020		¥46,530
		English Prepositions in Usage Contexts A Proposal for a Construction-Based	語の意味とは何か。構文的なパターンは言語使用の中からどのように形成されるのか。これらの問いに迫るため、本書では、英語前置詞の振る舞いを大規模コーパスや親子会話のデータを用いて分析し、前置詞を含む構文的なパターンが使用文脈の中で創発・定着するプロセスを、認知、談話、相互行為の観点から解明する。分析の帰結として、意味を担う基本単位は単一の語より大きな構文的単位であるという「構文の意味論」を提唱する。							
80		熊切拓	KP00077284	9784823411120	ひつじ書房	202202	PDF	¥29,700		¥44,550
		アラビア語チュニス方言の文法研究 否定と非現実モダリティ	アラビア語チュニス方言についての本邦初の文法研究書。否定辞maと接尾辞-jで動詞などを挟むのは、アラビア語方言に広く見られる否定文の作り方が、本研究はチュニス方言の否定文の実証的な分析を通して、maと-jの役割をはじめて解明。さらにチュニス方言独自の文法現象についても豊富な。否定と非現実モダリティの関係、現実性の観点からの否定の種類、談話モダリティとしての否定など、他言語の研究にも応用可能な理論的考察も豊富。							
81		仁田義雄	KP00077285	9784823411144	ひつじ書房	202112	PDF	¥9,240		¥13,860
		国語問題と日本語文法研究史	言語的不平等に対する理想と現実の乖離を指摘。裁判での使用言語などを通し、国家の国語に対するあり方に触れ、近代日本の国語創出における上田万年の果たした役割を解明。国語問題への小林英夫の革新的な考えを明示。デニョハ・係り結び・語分類への考察の進展、及び明治以降の文法研究の進展を描きながら、日本語文法研究史を概説、明治期の群小文法書の取り出しが本書の特徴。さらに現代日本語文法の記述的研究の確立化を示す。							
82		金子百合子	KP00077286	9784823411175	ひつじ書房	202202	PDF	¥25,740		¥38,610
		〈限界〉志向のロシア語と〈安定〉志向の日本語 アスペクト表現のロシア語・日本語対照研究	アスペクトは動作のどの部分を言語上で切り取るかを問うカテゴリーだが、それも言語的世界像の一部をなす。動作の展開において〈限界〉志向のロシア語と〈安定〉志向の日本語では、同じ意味でも「重み」や「振る舞い」が異なる。アスペクト的志向の違いはさらにデンスやモダリティ、語形成や構文における表現上の差異となって現れる。アスペクト意味の理論と実践の実態を多様な言表事実を基に検証する本邦初の本格的な露日対照言語研究。							
83		山根由美恵	KP00077287	9784823411236	ひつじ書房	202205	PDF	¥22,440		¥33,660
		村上春樹〈物語〉の行方 サバルタン・イグザイル・トラウマ	本書は、村上春樹が日本を離れ「イグザイル」（故郷離脱）を開始した時期から最新作までの村上文学の全体像および、変遷を捉えることを目的としている。現在村上には「世界文学」作家と評されることも多いが、自らを故郷離脱者と捉え模索した時期がある。この「イグザイル」意識からテキストを逆照射し、村上文学の新たな側面を提示した。また、本書では村上文学における「サバルタン」（下層・従属的・副次的存在）に着目し、村上文学の持つ批評性（とその限界）を捉えていることも特徴である。							
84		内田剛	KP00077288	9784823411243	ひつじ書房	202203	PDF	¥25,740		¥38,610
		国語科における「話し合い」学習の理論と実践	新型コロナウイルス感染拡大に伴うオンライン・ツールの普及によって、私たちのコミュニケーションは否応なしに変化を迫られている。このような変化の時期だからこそ、私たちは冷静に「話し合う」ことの重要性を再認識しなければならない。本書は明治期から現在における国語教育の「話し合い」学習が、どのような理論や目標に基づいて行われてきたかを分析した上で、今求めらる「話し合い」学習の具体的な実践案を提案している。							
85		和田敦彦	KP00077289	9784823411298	ひつじ書房	202202	PDF	¥9,570		¥14,355
		「大東亜」の読書編成 思想戦と日本語書物の流通	本書は、戦時期に日本の言語や文化の価値を教え、紹介し、広げていった人々の活動やその仕組みに焦点をあてる。知や情報を広げ、読者に働きかけていく仕組みを、国内の文化統制と、外地や占領地に向けた文化工作とに徹底する技術として明らかにする。そのために、書物の読者への広がりをとらえる新たな研究方法を用いた。思想戦の政策から実践への展開が、占領地や移住地に運ぶ日本語蔵書の詳細なデータから初めて明らかにされる。							
86		府川源一郎	KP00077290	9784823411410	ひつじ書房	202203	PDF	¥9,240		¥13,860
		一人ひとりのことばをつくり出す国語教育	国語教育は、ことばによる一人ひとりの自立を支援する教育的営みである。学びの場でそれを具体的に実現するには、どのような準備と考え方が必要なのか。本書は、この問題を以下の三つの観点から検討する。1. 国語科の教育内容の問い直し、2. ことばの学びの成立に関わる事例の考察、3. 史的観点からの位置づけの更新。新稿も含めて、著者による最新の成果を集成した創見に満ちた論考集。							
87		丸山直子	KP00077291	9784823411427	ひつじ書房	202207	PDF	¥22,440		¥33,660
		書き言葉と話し言葉の格助詞 コーパスと辞書記述の観点から	現代日本語の格助詞について、複合格助詞も含めて、個々の助詞の性質や、助詞同士の関連について論じる。国語辞書における格助詞・格情報の記述法を検討し、コーパスをもとに、書き言葉・話し言葉の格助詞がどのように用いられているのかの実態把握を行った。格の複数性（多量性・多側面性・連続性）と段階性（述語との結びつきの強さ）についても論じる。無助詞の現象やうなぎ文・こにゃく文についても触れている。							
88		奥本素子【編】	KP00090073	9784823411755	ひつじ書房	202302	PDF	¥16,500		¥24,750
		サイエンスコミュニケーションとアート融合する Art Integrated with Science	先端的な科学技術が社会に実装される際に、その間をつなぐものがサイエンスコミュニケーションである。そこにアートを取り入れたとき、どのようなコミュニケーションが生まれるのか。本書ではアートとサイエンスコミュニケーションの交差の歴史を紹介しながら、アートを活用した活動のデザインについても触れていく。執筆者：奥本素子、仲居伶美、杉貞貴、室井宏仁（日本学術振興会助成刊行物）表紙・扉作品：Yoichi Kamimura(scratch the snow field)（2021）「出版社提供情報」							

	書影	著者	Product ID	ISBN	出版社	底本刊行 年月	フォーマット	同時 アクセス1 本体価	同時 アクセス2 本体価	同時 アクセス3 本体価
		書名	内容紹介							
89		松本正恵	KP00090074	9784894766617	ひつじ書房	202303	PDF	¥30,360		¥45,540
		複合辞研究 その成り立ちと広がり	第I部では複合辞に関する研究史について、20世紀までの流れを記述。第II部は文法化の考え方を取り入れながら、複合辞と引用表現との関連性、思考動詞・視覚動詞との接点について論じた。第III部では、複合辞研究と複文構文の関係について取り上げた。第IV部では、体系的に複合辞を俯瞰した従来型の研究を紹介するとともに、最近のコーパスを資料とした網羅的・体系的な研究を取り上げたうえで、複合辞研究のこれからの方向性を模索した。旧版日本語の複合辞に関する総合的研究。5部からなる。第1部は複合辞研究史で、複合辞と隣接した後置詞・形式副詞等も射程に入れながら概観する。第2部は複合辞と引用表現の関わり、第3部は複合辞と文法化との関わり、第4部は複合辞と連体修飾・連用修飾との関わり、といった各側面からの考察で、個別表現を取り上げ記述する。第5部は複合辞認定論で、複合辞とは何か、どのように認定すべきかという根本的な難問について試論を提示する。【出版社提供情報】							
90		山梨正明	KP00090075	9784823410765	ひつじ書房	202105	PDF	¥10,560		¥15,840
		言語学と科学革命 認知言語学への展開	本書は、科学哲学の観点から、言語学における新たな言語理論の展開のメカニズムの諸相を明らかにしていく。特に、生成意味論を母体として出現した認知言語学の科学的探求の方法を、科学哲学のパラダイム変換の観点から考察する。また、認知言語学の研究が、言葉の探求だけでなく、修辞学、哲学、認知心理学、脳科学、等の関連分野の研究にどのような重要な知見を提供するかを考察していく。言葉と知のメカニズムの研究への新たな指針となる一冊。【出版社提供情報】							
91		鈴木淳	KP00090076	9784823411151	ひつじ書房	202208	PDF	¥12,540		¥18,810
		エドモン・ド・ゴンクール著『北斎』覚書	エドモン・ド・ゴンクール著『北斎』は、著者が古美術商林忠正の助力を得て、北斎に美術史上の評価を与えた、先駆的業績であるが、その評価はいかなるものであったか。筆者の見解は、ゴンクールが、「版画の世紀」と謳われたエッチングを中心とするフランス版画と同じ土俵に北斎を上せ、版画家でもあった弟ジュールとの共著『十八世紀の美術』の延長線上に、世界美術史上の類稀なデッサン画家として位置付けたというものである。【出版社提供情報】							
92		小林隆	KP00090077	9784823411502	ひつじ書房	202302	PDF	¥29,040		¥43,560
		語用論的方言学の方法	近年、語用論の発展はめざましいものの、歴史語用論や社会語用論に比べ、日本語の地理的側面についての語用論は遅れている。本書はそうした状況を踏まえ、方言学の世界に語用論的な見方を導入し、新たな方言学を切り拓こうとするものである。対象は言語行動、談話に留まらず、オノマトペや感動詞の運用、文法論との接点に及ぶ。また、それらの現象を背後から操る「言語的発想法」の地域差をあぶり出そうとするところに特色がある。（『日本学術振興会助成刊行物』「出版社提供情報」							
93		陳冬妹	KP00090078	9784823411519	ひつじ書房	202301	PDF	¥21,120		¥31,680
		話し言葉における受身表現の日中対照研究	日本語の受身文と中国語の“被”構文に関して、統語的・意味的観点から多くの知見が蓄積されているが、ほとんどは書き言葉を中心とするものであった。本書では、これまで重点的に論じられてこなかった話し言葉における日中受身表現の使用傾向に注目し、その非対称性、述語動詞の類型分布、主語の選択傾向、使用頻度の差などを調査・比較し、意味的機能・談話的機能のどちらをより重視するかという点を軸に、日中受身表現の使用の共通点・相違点の全体像を示した。【出版社提供情報】							
94		鍋木良夫	KP00090079	9784823411540	ひつじ書房	202303	PDF	¥7,920		¥11,880
		読解力を高め自信をつける 先行学習 決め手はあなたの指導技術	授業を変えたいと思っている教員に、読解力が高まる習得から活用へと進む「先行学習」型の指導法と、いじめ予防にもつながる授業スキルを提供する。教える側の授業スキル次第で、生徒の読解力と人間力は大きく向上する。いつでもどこでも使える39の授業スキルを手にして指導力を高めよう。【もったわかる授業を！「先行学習」のすすめ』（高陵社、2015年）に大幅な改稿を加えた改訂増補版。【出版社提供情報】							
95		島田勝正	KP00090080	9784823411649	ひつじ書房	202212	PDF	¥11,880		¥17,820
		「気づき」をうながす文法指導 英語のアクティブ・ラーニング	文法指導はどうあるべきか？ 本書では、教師による一方的な文法説明に代わるものとして、アクティブ・ラーニングを導く課題解決型の文法指導を提案する。具体的には、第二言語習得過程の各々の段階に対応して、意識化指導、認知文法、ディスコース、インプット、アウトプット、タスク、訂正フィードバックの7つの観点から、「気づき」をうながす英語の文法指導の基盤となる理論を解説し、その実践例を紹介する。【出版社提供情報】							
96		長田俊樹	KP00090081	9784823411700	ひつじ書房	202303	PDF	¥17,160		¥25,740
		上田万年再考 日本言語学史の黎明	本書の目的は既存の通説を打破して、新しい上田万年像を打ち立てることである。上田万年は称賛するにせよ、批判するにせよ、西洋言語学を日本に導入した人という評価は変わらない。その評価はどこまで正しいのか。そこが本書の出発点である。新村出筆録・柴田武校訂（1975）『シリーズ名講義ノート・上田万年言語学』をネット上にある上田が参照したと思われる原書文獻と照らし合わせ、上田の西洋言語学理解を検証する。カバー写真：東京外国語大学文学館所蔵「出版社提供情報」							
97		李澤熊	KP00090082	9784823411717	ひつじ書房	202301	PDF	¥23,100		¥34,650
		現代日本語における意図性副詞の意味研究 認知意味論の観点から	現代日本語の副詞に関する諸研究を整理・検討し、認知言語学の観点を視野に入れ、意図性に関わる副詞的成分22語の副詞における位置付けを提案する。また、従来の優れた意味分析の手法に加え、認知意味論の主要概念を援用し、22語のそれぞれの意味と相互の意味の類似点・相違点を明らかにすることによって、日本語の意味研究に新たな端緒を与えるとともに、他の品詞に比べて遅れをとっている副詞研究のさらなる発展・深化を目指す。（『日本学術振興会助成刊行物』「出版社提供情報」							
98		川瀬卓	KP00090083	9784823411748	ひつじ書房	202302	PDF	¥23,760		¥35,640
		副詞から見た日本語文法史	本書は、アスペクト、否定、モラリティ、行為指示や感謝・謝罪における対人配慮などの、日本語の文法現象と関わる副詞をいくつか取り上げ、副詞を視点として日本語文法史に迫ることを試みたものである。個々の副詞の歴史変化を記述するとともに、それを通して、副詞に見られる文法変化のありようを示し、日本語の歴史の時代的動向についても論じる。語史研究の先にある、副詞の歴史的研究の新たな可能性を実践的に示した書。（『日本学術振興会助成刊行物』「出版社提供情報」							

	書影	著者	Product ID	ISBN	出版社	底本刊行 年月	フォーマット	同時 アクセス1 本体価	同時 アクセス2 本体価	同時 アクセス3 本体価
		書名	内容紹介							
99		加藤 夢三 並行世界の存在論 現代 日本文学への招待	KP00090084	9784823411816	ひつじ書房	202212	PDF	¥9,240		¥13,860
			なぜ（ある特定の）人びとは、ただひとつの現実世界に飽き足らず、並行世界というものに強く惹きつけられるのか。並行世界に思いを馳せるとはどういうことなのか。私たちにとって並行世界とはどのような意味を持つのか。本書は、こういった問いの枠組みを、哲学でも心理学でもなく自然科学でもなく、文学研究の立場から考えようとする試みである。それは、個別具体的な作品分析を通して、並行世界という舞台設定が担う思想的な潜在力を解き明かす企てともなるだろう。「出版社提供情報」							
100		山梨 正明 小説の描写と技巧 言葉へ の認知的アプローチ	KP00090085	9784823411830	ひつじ書房	202305	PDF	¥11,220		¥16,830
			一般に、小説に代表される散文芸術を特徴づける言語表現には様々な描写の技巧が関わっている。本書は、認知言語学の視点から、特に小説を特徴づける描写の主観性と客観性の側面に焦点をおきながら、文学テキストの創造性に関わる修辞技巧の問題を考察していく。小説の表現技巧の研究に貢献するとともに、叙述と描写に関わる文体論の基礎研究として重要な知見を提供する。また、小説の作品論と作家論の研究にも新たな視点を提示する。「出版社提供情報」							
101		山中司 神原 一帆 プラグマティズム言語学序 説 意味の構築とその発生	KP00090086	9784823411847	ひつじ書房	202302	PDF	¥13,200		¥19,800
			現代的な意味論や語用論といった分野は分析哲学から派生したため、言語学と哲学は密接な関係にある。本書は言語学において議論されることが少ないプラグマティズムという哲学の概念が言語分析の基礎概念として機能することを示すと共に、その帰結を論じることを試みる。本書はプラグマティズムに加え、身体性、フレーム理論、ネオ・サイバネティクスといった概念との関係について詳細に論じる初の学際的な研究書でもある。「出版社提供情報」							
102		榎澤 祐一 消費者的向社会的行動原 理 カスタマー・ハラスメント 予防のためのコミュニケー ション	KP00090087	9784823411878	ひつじ書房	202303	PDF	¥16,500		¥24,750
			カスタマー・ハラスメントが近年、注目を集めている。この問題に対しては企業から従業員への対処法教育が解決のアプローチとして主流とみられるが、元より問題が生じにくするにはどうしたら良いのか。本書はマーケティング・コミュニケーションの観点から、サービス全般への適用可能な示唆を試みた。発達心理学の知見から仮説を設定し、エンタテインメント・イベントを題材に日本と中国で質問紙実験を実施した。「出版社提供情報」							
103		小川 誉子美 開国前夜、日欧をつないだ のは漢字だった 東西交流 と日本語との出会い	KP00090088	9784823411892	ひつじ書房	202306	PDF	¥8,910		¥13,365
			辞書も教科書もない時代に日本語を学んだ西洋人と西洋語を学んだ日本人には、ある共通点があった。彼らは書き言葉としての中国語を用いていた。ペリー一行もヨーロッパの日本語学者もまた福沢諭吉の英字への取り組みも、漢文に支えられていた。日本と西洋が出会った歴史的場面で、未知の言語を話す相手に双方がどのようにサブチャンネルを活用したのか、本書は知らざる日欧の交流史を言語に焦点をあてて紹介する。「出版社提供情報」							
104		高山 善行 日本語文法史の視界 継 承と発展をめざして	KP00095613	9784823410086	ひつじ書房	202103	PDF	¥21,120		¥31,680
			本書は、日本語文法史の開拓的研究をまとめたものである。古代語の助動詞を中心に、現代語との対照の観点から基礎的、実証的研究を行なっている。「名詞句」「モラリティ」「疑問文」「記述表現」を取り上げ、それぞれの研究において新しい視点、分析方法を提示する。また、「とりたてモラリティ」「テンス・アスペクトとテキスト構造」など、研究テーマの接続も試みる。この分野の研究領域を見通し、領域拡張の基点となる書。「出版社提供情報」							
105		程 莉 「重複」の文法的研究	KP00095614	9784823410185	ひつじ書房	202008	PDF	¥13,200		¥19,800
			表現の重複は、「量の公理違反」という語用論の問題でしかないのだろうか？ 実際には、重複表現は言語の至るところに遍在しており、その自然さは、言語によって、また構文によって異なる。「冗長性」として忌避される重複だけでなく、許容される重複、好まれる重複、果ては「一致」「呼応」「同族目的語」「係り結び」の名のもとに文法システムに取り込まれて必須のものとなる重複まで、さまざまなものがある。本書は、現代日本語と現代中国語における重複表現の自然さを、文法の観点から記述分析し、重複と文法の関係を明らかにした。「出版社提供情報」							
106		平野 尊識 連濁の規則性をもとめて	KP00095615	9784823410192	ひつじ書房	202105	PDF	¥15,840		¥23,760
			複合語における連濁形・非連濁形の生起を規則によって説明する試みである。その前提として、右枝条件など連濁を阻止する制約を再吟味するとともに、世界の言語の複合語の構成を概観した。複合語化には前項と後項を結び付ける要素の存在が必要なこと、このような要素はかつて日本語にも存在し、それが連濁の発生へと繋がったことを指摘した。また、規則化の問題点が明らかになったことから、連濁研究の今後の方向性を示したと言える。「出版社提供情報」							
107		高崎 みどり テキスト語彙論 テキストの 中で見ることばのふるまい の実際	KP00095616	9784823410543	ひつじ書房	202103	PDF	¥15,840		¥23,760
			本書は、実際のテキストの中での語の働き・ふるまいを観察し、テキストの展開と関係づけて論じるテキスト分析をめざしている。「テキスト構成」や「語彙的結束性」といったテキスト分析の概念を、語の辞書的「意味」の捉え直しや、近代語テキストにおいて重要性を増す「漢語」「や」「名詞」の役割、コ系やド系指示語の機能の再発見等と関連づけて具体的に論じ、文体論やCDA（批判的ディスコース分析）にも目配りしている。「出版社提供情報」							
108		李光赫 趙海城 条件文の日中対照計量的 研究 KH CoderとSPSS を利用した可視化分析	KP00095617	9784823411137	ひつじ書房	202208	PDF	¥22,440		¥33,660
			日中対照研究者必携！ 中日対訳コーパスを利用し、条件文の日中対応状況を可視化する方法を説明した最初の研究書。初心者でも理解できる中日対訳コーパスの構築と研究の方法を紹介。日中対照研究を量的に比較・可視化する新たな研究方法を提示。海外版のWindowsでも使え、数学が苦手な文系の研究者でも統計処理が可能。三種類以上の言語と日本語の対照研究にも応用可で、海外の日本語学習者でも日本語教育者でも使える。「出版社提供情報」							
109		上田 功 獲得と臨床の音韻論	KP00095618	9784823411779	ひつじ書房	202302	PDF	¥16,500		¥24,750
			幼児の言語発達期に見られる発音の遅れや誤り、機能性構音障害と呼ばれる体系的な誤構音に至る音韻理論からのアプローチを試みる書。伝統的古典的生成音韻論から、自然音韻論、素性階層理論、素性不完全指定理論、近年の最適性理論に至る理論の発展に伴い、幼児の誤構音にどのように光が当てられてきたかを、日本語と英語の誤構音のデータを分析の俎上に上げて議論を進める。臨床現場の活動と理論的な分析は車の両輪である。分野横断的で学際的な書である。（日本学術振興会助成刊行物）「出版社提供情報」							

	書影	著者	Product ID	ISBN	出版社	底本刊行 年月	フォーマット	同時 アクセス1 本体価	同時 アクセス2 本体価	同時 アクセス3 本体価
		書名	内容紹介							
110		大和隆介 言語学習における学習ストラテジーと動機づけ 理論と実践の創造的キュレーション	KP00112886	9784823411168	ひつじ書房	202301	PDF	¥18,150		¥27,225
			AIによる翻訳によって外国語学習は不要になってしまうのか。本書は、言語学習の成否に大きな影響を与える「学習ストラテジー」と「動機づけ」に注目して、現代社会が求める、機械翻訳では代替できない統合的コミュニケーション能力を育成する英語教育の在り方について論じる。前半で2つのテーマにかかわる諸理論について創造的のキュレーション（知的探索と整理）を行い、後半では理論に関連した実証的研究を報告し、続いて効果的指導について論じている。「出版社提供情報」							
111		片岡邦好 メディア談話へのまなざし クロスモーダル分析の試み	KP00112887	9784823411786	ひつじ書房	202405	PDF	¥11,220		¥16,830
			1 メディア談話、2 道案内と空間描写、3 ロッククライマーの身体とナラティブ分析を扱うシリーズ全3巻の第1巻。マルチモーダル分析の手法を駆使し、メディア談話研究の可能性を拓く論文集。本書は社会言語学・言語人類学的方法を用いながら、書記言語、音声言語、パラ音声、身体表象などを統合的に分析対象とすることを旨とし、認知的かつミクロな相互行為分析に着目する「マルチモーダル」の視座と、本書で「クロスモーダル」と呼ぶ個々の集団や文化的規範を重視するアプローチにより、メディア談話の新たな側面に光を当てる。「出版社提供情報」							
112		前川孝子 作文教育の日中対照研究	KP00112888	9784823411854	ひつじ書房	202401	PDF	¥23,100		¥34,650
			中国語を母語とする日本語学習者が日本語で書いた作文は、文法としては正確なのに、「何か」が違う。それは何なのか。それは何に由来するのか。この疑問に答えるため、本書では日本・中国それぞれの国語における作文の規範に注目する。両国において規範と見なされる文章の分析を通じて、「意見はどのように書かなければならないか」「どのように論証しなければならないか」という枠組みの差異を多面的に明らかにする画期的研究。「出版社提供情報」							
113		張春陽 新漢語成立史の研究	KP00112889	9784823411939	ひつじ書房	202312	PDF	¥25,080		¥37,620
			近代における漢字文化圏の最も顕著な言語現象の1つとして、西洋文化を導入するための新漢語の成立があげられる。本書では、これまでの研究ではあまり触れられることなかった具象概念を表す新漢語をとりあげ、成立過程を考察する。それにあたり、人的交流によって成り立った幕末・明治期の遣外使節団の西洋見聞録類、また、西洋から取り入れられた物の導入を記す公式的記録資料の新漢語研究における資料的価値も明らかにする。「出版社提供情報」							
114		佐伯暁子 日本語助詞「を」の研究	KP00112890	9784823412011	ひつじ書房	202403	PDF	¥20,460		¥30,690
			本書は、古代語と現代語の両面から、助詞「を」の体系化を目指すものである。まず、現代語の格助詞「を」の個別用法とそれら各用法のつながり、古代語と現代語の二重ヲ格について実証的に考察する。そして、現代語に残存する接続助詞「を」を取り上げ、その歴史の解明を通して、接続助詞的な「を」の関わりへと展開する。文法変化も視野に入れることで、格助詞「を」・接続助詞的な「を」・接続助詞「を」の連続性を論証する。「出版社提供情報」							
115		半沢幹一 方言のレトリック	KP00112891	9784823412042	ひつじ書房	202310	PDF	¥23,100		¥34,650
			従来、もっぱら文章とわけ文学的文章に対して行われてきたレトリックに関する研究が、近年は語用論的な研究の進展にともない、談話一般さらには方言にも及ぶようになってきた。本書はそのような流れに神として、日本各地の方言における、とくに比喩やオノマトヘの実態を明らかにし、さらに、これまでは対象外にされてきたといえる、手話語や書という、位相を異にする分野のレトリックの如何にも言及を試みたものである。「出版社提供情報」							
116		中森蒼之 Integrated Skills Development Comprehending and Producing Texts in a	KP00112892	9784823412059	ひつじ書房	202310	PDF	¥24,200		¥36,300
			本書の目的は、英語教育の新理論を提案することにある。統合型の外国語教育を効果的かつ効率的に展開していくに当たり、その理論的基盤となる、文章の理解と作成のメカニズムを解明する。現在、マルチモーダルとしての電子機器使用が一般化している。多感覚処理に関する認知科学の研究成果に基づき、聴覚・視覚情報処理及び思考過程に焦点を当てながら、単語、句、文を超えた、文章レベルの理解と創作の関係性を探究していく。〈日本学術振興会助成刊行物〉「出版社提供情報」							
117		町田章 AI時代に言語学の存在の意味はあるのか？ 認知文法の思考法	KP00112893	9784823412073	ひつじ書房	202309	PDF	¥7,260		¥10,890
			近年のAIの発達により、言語学も変革を迫られている。これまで不可能だったことがAIによって着実に実現されていく。言語学の課題はAIによってすべて解決されてしまうのだろうか。本書は、長年ラネカの認知文法理論の研究を行ってきた著者が、言語理論を積みながらディープラーニング以降の理論言語学および語学教育の在り方について提言を行う。AI研究と言語研究の共進化を目指して、ウェアマガジンの連載に大幅な加筆修正をして書籍化。「出版社提供情報」							
118		牧千夏 農村青年の文学 昭和初期の農村アマチュア作家と宮沢賢治	KP00112894	9784823412097	ひつじ書房	202312	PDF	¥23,760		¥35,640
			本書は、農村文学および産業組合という観点から、1920-30年代に農村の人々々が地域や個人を主体とした独自の文化を生んだことを明らかにする。宮沢賢治を中心に地方のアマチュア作家や投書家の表現、および産業組合の関連から賀川豊彦や平塚らいてうを扱った。農村の人々々のなかには、仕事や雑事に明け暮れる日々なかで、頭をひねって原稿用紙に向かった人がいた。本書は、彼らの表現が地域の暮らしから生まれたことを、浮かび上がらせようとする。「出版社提供情報」							
119		徳山聖美 Perception and Linguistic Form	KP00112895	9784823412110	ひつじ書房	202404	PDF	¥24,200		¥36,300
			本書は知覚動詞構文に関する様々な疑問を解き明かす。Mary looks happy.は「私」が認知主体なのになぜMaryを主語とするのか。Mary appears happy.とはどう異なるのか。That sounds interesting.の動詞はなぜlistenではダメなのか。非文法的とされるI saw him tall.のような構文が小説などで散見されるのはなぜか。これまで見過ごされてきた言語事実を提起し、談話データの文脈的要因に焦点を当てて知覚動詞構文を認知言語学的そして語用論的に捉え直す。「出版社提供情報」							
120		薛鳴 「関係」の呼称の言語学 日中対照研究からのアプローチ	KP00112896	9784823412127	ひつじ書房	202402	PDF	¥15,840		¥23,760
			「関係」をキーワードに、その最たるものとも言える「親族名称」とその呼称としての用法を日中対照の視点から分析していく。言語形式としての親族名称の枠組みの記述と、言語使用としての呼びかけの呼称の使い方の考察を行う。話者との関係性の有無を指標として導入することにより、日中母語話者の呼称の使い方の根本的な相違を明らかにした。著者の長年の研究に新たな知見が加わった、日中の親族名称に関する初の研究書である。〈日本学術振興会助成刊行物〉「出版社提供情報」							

	書影	著者	Product ID	ISBN	出版社	底本刊行 年月	フォーマット	同時 アクセス1 本体価	同時 アクセス2 本体価	同時 アクセス3 本体価
		書名	内容紹介							
121		遠藤織枝	KP00112897	9784823412134	ひつじ書房	202405	PDF	¥8,580		¥12,870
		やさしい日本語の時代に、やさしい介護のことばを	2008年にEPA（経済連携協定）の外国人の看護・介護の専門家を養成する事業が始まり、介護福祉士候補者の日本語支援に関わることになった。初めて、現場の日本語に接した時の衝撃は忘れない。申し送りや介護記録の用語は、日常の語と全く異なり難解であった。調べていくうちにそれらは明治以来踏襲の語とわかった。漢字の環境も、働く人の実際も大きく変化した現在、難解な語のままにしておいていいのだろうか。【出版社提供情報】							
122		丹藤博文	KP00112898	9784823412141	ひつじ書房	202401	PDF	¥23,760		¥35,640
		文学教育における読書行為の研究	本書は学校教育における文学教材の読みについて、読書行為の観点からその有効性を明らかにし、その成立のための方法を提案する。まず戦後文学教育を読書行為論の視点から批判的に検討し、また、文学の機能を教室で生かすために、言語論的転回以後の読書行為論の理論と方法を構築した。さらに文学教材をナラティブ・メソッドにより分析していくことで、テキストの行為を可視化することを試みる。文学教育の新たな理論と実践の書。〈日本学術振興会助成刊行物〉【出版社提供情報】							
123		泉大輔	KP00112899	9784823412158	ひつじ書房	202402	PDF	¥22,440		¥33,660
		現代日本語の逸脱的な造語法「文の包摂」の研究	「振り込め詐欺」「かまってちゃん」「いいねボタン」「話しかけるなオー」という語の特異性はどのように説明できるだろうか。本書では語の内部に“文”相当の要素が含まれる現象を「文の包摂」と名付け、実例を豊富に取り上げる。それらの形式的・意味的特徴を記述した上で、引用、命名、表現効果などの観点から成立原理を説明する。逸脱表現研究のみならず、日本語史研究・他言語研究の新たな地平をも拓く、実証的かつ挑戦的な研究書。〈日本学術振興会助成刊行物〉【出版社提供情報】							
124		相良啓子	KP00112900	9784823412219	ひつじ書房	202402	PDF	¥28,050		¥42,075
		日本手話の歴史的研究 系統関係にある台湾手話、韓国手話の 数詞、親族表現との比較から	日本手話と、系統的に関係がある韓国手話、台湾手話の3つの言語の数詞および親族表現に焦点を当てて、表記法を用いて記述し、その記述に基づいて、音韻、形態、そして意味の観点から語彙の変化の特徴についてまとめている。地域により様々な表現があることが知られていたが、詳しい実感が知られていなかった3つの言語の文献資料における記述から現在にわたるデータをまとめた初めての資料である。言語学研究者、歴史研究者、教育関係者など、幅広く読んでほしい。〈日本学術振興会助成刊行物〉【出版社提供情報】							
125		小寺正洋	KP00112901	9784823412226	ひつじ書房	202402	PDF	¥25,740		¥38,610
		英語抽象名詞の可算性の研究 英語教育の視点から	英語抽象名詞の可算性に関して解明すべき問題点を整理し、先行研究の主張を検証した。「適切な文脈があればすべての名詞は可算・不可算のどちらでも用いられる」と「不可算抽象名詞は修飾を伴うと不定冠詞と共に起る」の2つの主張についてアンケート調査およびコーパスデータにより支持されないことを示した。また、抽象名詞が可算解釈を得るメカニズムを調べ、英語学習辞典の可算・不可算表記の問題点を指摘し改善案を提示した。【出版社提供情報】							
126		中村美和子	KP00112902	9784823412240	ひつじ書房	202404	PDF	¥23,760		¥35,640
		昭和前期における口演童話の変遷 教育、ラジオへの展開と戦争協力	子どもを集めて物語を聞かせる口演童話は、20世紀前半の日本で人気のあった児童文化で、ラジオ登場前は児童出版以上のマスメディアだったといわれる。口演童話は若い教師たちの話しかた研究に重宝され、口演童話家たちはラジオ初期のタレントとして活躍した。発展の過程でたくわえられた技術・人脈は、戦時体制が進むなか積極的に活用される。本書は語られた話材の分析をとおし、昭和前期の口演童話の展開をたどった歴史書である。【出版社提供情報】							
127		廣田篤	KP00112903	9784823412257	ひつじ書房	202403	PDF	¥26,400		¥39,600
		The No More A than B Construction A Cognitive and Praamatic Approach	本書は、No More A than B構文、特に「クジラ構文」とは何か、その本質を解明しようとするものである。その際、2つのアプローチを採用する。1つは、認知文法に基づいた構文の意味構造図の記述である。もう1つは、推論における「対偶」の関係に着目した語用論的な分析である。そうしていくつかある用法を動機づける条件を検討し、従来様々に議論されてきた構文の用法間関係に対して原理的な説明を与える。【出版社提供情報】							
128		石井要	KP00112904	9784823412264	ひつじ書房	202405	PDF	¥19,800		¥29,700
		中島敦 意識のゆらぎから 複数の世界へ	中島敦は、英国作家オルダス・ハックスレイのエッセイから、生物学者ユクススキュルの環世界論をはじめ、“人間”の認識・思考・存在のあり方を根底から揺さぶる科学的知見を受け取っていた。理想的な国民の“人間性”が喧伝される戦時下の時代状況において、中島敦が捉えていた“人間”の姿はどのようなものだったのか。本書では、中島敦が受容していた科学的知見を視座として、存在と世界のあり方を問い直す中島敦文学の新たな一面を浮き彫りにする。【出版社提供情報】							
129		阿久津智	KP00112905	9784823412271	ひつじ書房	202402	PDF	¥22,000		¥33,000
		音声・音韻の概念史	本書は、音声・音韻分野における用語の歴史に関する研究書である。本書では、語彙や語形の変化の記述を中心とする従来の語史（語誌）研究に、専門的な概念の形成や名称の成立の過程を重視し、それを文脈の中で、他の語（概念）と対比しながら分析するという概念史的な方法を加えるという試みを行った。取り上げた用語は、「音声」「発音」「発声」「音節」「音素」「音」「音韻論」「音声学」「音韻学」「半濁音」「音韻」である。【出版社提供情報】							
130		周密	KP00112906	9784823412295	ひつじ書房	202403	PDF	¥11,220		¥16,830
		BLと中国 耽美（Danmei）をめぐる社会情勢と魅力	中国のボーイズラブ（BL）は、1990年代に日本のBLから影響を受けて始まった。現在では、中国BL小説が原作のアダプテーションドラマ『陳情令』を筆頭に、中国BLは世界中で人気を博し中国のソフトパワーにもなっている。厳しいメディア規制の環境下でも発展してきた中国BLをめぐって、人気作品で講じられる適応策やBL・メディア業界に関わる中国の社会情勢を分析する。中国のBL（耽美／Danmei）を論じ、日本語による初の研究書。【出版社提供情報】							
131		堀正広	KP00112907	9784823412318	ひつじ書房	202403	PDF	¥19,140		¥28,710
		日本文化は英訳できるか、 禅は西洋に根付くか 俳句・ 公案そして佐々木指月の 生涯	本書は、異文化の翻訳と異文化の移動における受容の問題を扱っている。本書の構成は二部からなっている。第I部は、日本文化の英訳の諸問題を英語学的な視点から比較分析する。俳句・禅公案・『五輪書』そして武士道が対象となる。第II部は、日本の禅は禅者の弟子丸泰仙・鈴木俊隆などによって広まったことを例示した後、アメリカで最初の禅センターを創設した佐々木指月の生涯を詳細に記録する。【出版社提供情報】							
132		森玲奈	KP00112908	9784823412363	ひつじ書房	202403	PDF	¥9,900		¥14,850
		ワークショップデザインにお ける熟達と実践者の育成 第2版	生涯学習時代において参加型学習の1手法である「ワークショップ」への関心が高まりつつある。本書はワークショップデザインにおける熟達と実践者の育成に関して包括的に記した第2版である。ワークショップの歴史、ワークショップ実践者の熟達と育成課題に加え、第2版では高齢者に対するワークショップ実践者育成のアクションリサーチを事例研究として追加した。未来の教育を考える上で、重要な示唆を与える書と言えよう。【出版社提供情報】							

	書影	著者	Product ID	ISBN	出版社	底本刊行 年月	フォーマット	同時 アクセス1 本体価	同時 アクセス2 本体価	同時 アクセス3 本体価
		書名	内容紹介							
133		中山弘明 〈学問史〉としての近代文学研究「はじまり」の位相	KP00112909	9784823412394	ひつじ書房	202405	PDF	¥11,220		¥16,830
			本書は、日本の近代文学研究がどのように進んできたのかを、戦間期・戦時下・戦後と10の視点でたどったものである。それは単純に起源をどこに見るのではなく、様々な研究会の動向に着目し、さらには卒論のあり方、全集の作られ方、雑誌や新聞をもちいた研究の歴史など、研究の「日常」にも光をあて、現在に接続させる。人文系の研究が岐路にある現在、文学研究の学知のあり方を〈学問史〉という新視点から解明するものである。【出版社提供情報】							
134		諸隈タチ アヤクーチョ・ケチュア語の移動表現 実験的手法を用いた類型論的研究	KP00112910	9784823412691	ひつじ書房	202502	PDF	¥29,040		¥43,560
			「家に入る」「階段を上る」といった移動表現の類型論は、概念の普遍性と表現の多様性から古くより注目を集めている。アンデス地域の歴史的リング・フランカの1つであるケチュア語では、移動表現にどのような特徴が見られるのだろうか。本書ではアヤクーチョ県を中心に使用されるケチュア語に注目し、実験的手法で得られたデータを元に、この言語の移動表現の類型論的特徴を、世界で初めて総覧的・体系的に記述する。（日本学術振興会助成予定刊行物）【出版社提供情報】							
135		津村俊夫 聖書ヘブル詩の並行法 詩行の反復表現が表すもの	KP00116057	9784823411359	ひつじ書房	202211	PDF	¥15,840		¥23,760
			本書は聖書に記されている詩（ヘブル詩）について、詩独自の文法に注目することで新たな解釈を示す。詩の文法を分析する必要性を唱えた、ヤーコブソンの議論を踏まえて、ヘブル文字をローマ字転写した本文と最新の邦訳聖書を比べながら、漢詩やモンゴル語、スラブ語の詩にも見られる並行法の特徴を、多くの具体例から検討する。聖書学だけでなく、言語学・詩学の研究にも資するところが大きであろう。【出版社提供情報】							
136		澤西祐典 芥川龍之介における海外文学受容 旧蔵書越しに見える風景	KP00116058	9784823412790	ひつじ書房	202503	PDF	¥23,760		¥35,640
			「あらゆるものを本の中に学んだ」（「大導寺信輔の半生」）とする芥川龍之介はどのような洋書を読み、どのように執筆に活かしていたのか。焼失した卒業論文（ウィリアム・モリス論）の正体、代表作「地獄変」の典拠、翻訳体験が芥川の文体へ与えた影響、旧蔵書に挟まれた押し花や書簡など、日本近代文学館等に残された芥川龍之介旧蔵書・洋書を手がかりに実証的に辿る。巻末には旧蔵書・洋書への書き込み一覧・読書年譜付き。【出版社提供情報】							
137		木下直子 黒田史彦 トンプソン美恵子 日本語学習アドバイジング 自律性を育むための学習支援	KP00143573	9784823411991	ひつじ書房	202408	PDF	¥9,240		¥13,860
			対話を通して自律的な日本語学習を促す「日本語学習アドバイジング」。長年の日本語教育経験があっても、アドバイジングの視座は自然に得られるわけではない。本書は、関連する諸理論とそれらを実践した12の対話例から、学習者の自律性を育む問いかけや対応について理解が深められる。また、日本語学習アドバイザーとして継続的に成長するためのポイントも示されている。日本語教育、日本語学習支援に携わるすべての方に役立つ書。【出版社提供情報】							
138		渡慶次正則 小学校と中学校の英語教育接続に関する実践的研究	KP00143574	9784823412523	ひつじ書房	202411	PDF	¥9,900		¥14,850
			小学校と中学校の英語教育の乖離をどう接続するか。本書は、小学校現場に密着した調査、教員研修等の豊富なデータを基に、俯瞰的かつ体系的に中学校との接続方法を示す。小学校の検定教科書分析と小学校授業観察、発音、文法、語彙指導の中小接続、オンライン教員研修、早期英語教育（臨界期仮説）の学術的な評価について実践書とは異なる視点から今後の英語教育の指針を提案。現場教員や研究者、大学院生待望の実践的な研究書。【出版社提供情報】							
139		成瀬尚志 レポート課題の再発見 論題の設計と評価の原理	KP00143575	9784823412769	ひつじ書房	202411	PDF	¥5,280		¥7,920
			生成AI時代に、レポート課題は存亡の危機に瀕している。コピペ問題に続き、生成AIの台頭でレポート課題の存在意義が揺らぎ、教育の現場から姿を消しかねない状況にある。しかし、大学での貴重なライティングの機会であるレポート課題が、このまま消えてしまってもよいのだろうか。本書は、「論題の設計と評価の原理」にまで立ち返って考察し、ライティング教育におけるレポート課題の意義と可能性を「再発見」することを目指す。【出版社提供情報】							
140		工藤真由美 文と時間 日本語のテンポラリティーとタクシス	KP00143576	9784823412653	ひつじ書房	202504	PDF	¥16,500		¥24,750
			『現代日本語ムード・テンス・アスペクト論』（2014）に続く本書では、言語活動の基本的単位である文が、場面・文脈というコンテクストのなかで、どのように時間を表現するのかを、総合的に明らかにすることを目指す。前著では、形態論的なアスペクト・テンス形式に焦点をあてて考察したが、本書では、テンポラリティーやタクシスという連文や複文レベルの時間表現に焦点をあてて考察する。あわせて奥田靖雄論を補部として付けている。【出版社提供情報】							
141		高島彬 Evidentiality in Japanese a cognitive linguistic approach to the evidential	KP00143577	9784823412783	ひつじ書房	202503	PDF	¥24,200		¥36,300
			証拠性（Evidentiality）とは、発話者が発話する情報をどのようにして取得したのかを表す言語カテゴリーであるが、認知言語学が分析の中心としてきた英語には文法的な証拠性が存在しないため、いまだ議論の余地を残す領域である。本書では、日本語の証拠性「らしい」を例に、その言語変化、物語論を援用した日本語と英語の比較、ミラティブイーンの拡張といった多角的な研究を通して、認知言語学の観点から証拠性を解き明かす。【出版社提供情報】							
142		細越響子 学術英語教育のための技能統合型タスク 字幕と事前学習を中心に	KP00143578	9784823412820	ひつじ書房	202503	PDF	¥23,760		¥35,640
			四技能統合型の英語教育が推進される中、学術英語教育への導入はまだ研究の蓄積がない。本書は学習補助として、字幕や事前学習などの足場かけの有効性の調査結果をもとに技能統合型タスクを開発、長期の授業実践でタスクの効果を検証し、音声知覚、内容理解、長期的な英語運用能力の向上が見られたことを実証的に明らかにする。英語オンライン講義等に教材として足場かけをすることで、英語力向上へ導くあらたな指導観を提案する。【出版社提供情報】							
143		川端元子 現代日本語の程度表現の研究	KP00143579	9784823413322	ひつじ書房	202602	PDF	¥25,080		¥37,620
			現代日本語の程度表現には、副詞を含むさまざまな言語形式がある。本書は、従来の研究をふまえて、程度副詞をはじめとする比較構文を含む多様な程度表現形式の特性を探る。程度評価のあり方がその表現が設定する程度スケールの真なりに起因することに注目し、程度スケール上に設定される基準や発話の前提をもとに、程度表現がどのような意味の違いを持つのかを整理する。そして、程度表現が多様化する要因を解き明かす。【出版社提供情報】							
144		横溝紳一郎 日本語教師を育てる	KP00143580	9784823413391	ひつじ書房	202601	PDF	¥8,580		¥12,870
			「日本語教育推進法」の施行に伴い、日本語教育そして日本語教員養成機関への新たな期待が生まれている。しかしながら、急激な変化に今後の見通しが見いだせず、混乱する日本語教育関係者も少なくない。そのような状況に対応するためのガイドブックとして「読者に知識だけでなく、できれば『勇気と希望』を与えるものをめざしたい」という思いで本書を執筆した。日本語教員養成機関としてのプログラムを提案する。【出版社提供情報】							

[illegible]